

田原本町



誰もが健康で幸せな暮らしを楽しむまちへ

「たわらもとヘルスケアプロジェクト」への寄附を通じた健幸応援団を募集しています。

＜プロジェクト概要＞

活動量計やスマホを活用し、ウォーキングなどの日常の健康づくりへの努力や成果に対して、地域商品券に交換できる健幸ポイントを付与する「健幸ポイント事業」と、ICTを活用し、個人の健康状態に応じた安全かつ効果的な運動プログラムを実施する「健幸運動教室事業」を実施しています。健康無関心層や普段の運動量が少ない方々に対しても、運動のきっかけづくりや運動継続の励みとすることで、健幸長寿を目指しています。

担当：長寿介護課 小西
連絡先：(Tel)0744-34-2052
(Mail)swc@town.tawaramoto.nara.jp

曽爾村



＜曽爾高原再生プロジェクト＞

年間約50万人が訪れる曽爾村。観光客の大多数が、スキの名所である曽爾高原を訪れます。本村最大の観光資源「曽爾高原のスキ」の再生を目指し、山焼き、スキの植え替え・肥料散布・交流活動を行っています。

＜漆文化発祥の地から古の漆の流通の復活を目指す

「山と漆プロジェクト事業」＞

曽爾村では漆文化を復活させ、村で採取した漆で将来的に奈良の国宝・重要文化財の修復をまかなうことを見据え、村外の関係人口を育みながら、漆の森づくりを共に進めるプロジェクトを実施しています。

以上、2つのプロジェクトに対してご賛同いただける企業様を募集しています。

担当：企画課 磯野
連絡先：(Tel)0745-94-2116
(Mail)kikaku@vill.soni.lg.jp

御杖村



御杖村では、御杖村まち・ひと・しごと創生推進事業として、奈良県立大学と連携事業を通じて、ふるさと御杖村の良さを再確認し、郷土への誇りを育むとともに、地域の課題に適切に対応し、個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目的に地域交流型連携事業に取り組んでいます。学生の視点を活かした学生主体の事業を毎年展開し、現在まで郷土愛の醸成を図る寺子屋事業や地域資源活用におけるレストラン事業、新たなお土産商品の開発や村の観光振興活動などを実現しています。

未来を担う人材育成や関係人口創出に企業のみなさまの応援をお願いします。

担当：むらづくり振興課 青海
連絡先：(Tel)0745-95-2001
(Mail)kankou@vill.mitsue.lg.jp

高取町



「しごとを通じて多様な人の望む生き方を実現する」ワークシェアリング事業を応援していただける企業様を募集しています。2022年4月から本格的に稼働しているワークシェアリング事業の拠点となる施設がありません。子ども連れで仕事ができたり、地域住民が気軽に立ち寄れる施設を作るために、ぜひお力をお貸しください。

担当：総合政策課 鍵本
連絡先：(Tel) 0744-52-3334
(Mail)sougouseisaku@town.takatori.nara.jp

明日香村



「飛鳥・藤原」の世界遺産登録に向け、明日香村では全村が一丸となって様々な事業を展開しており、2026年に登録が実現する予定です。世界遺産登録に向けた構成資産候補の調査や整備をはじめ、登録後の来訪者の受け入れを想定した周辺環境整備、さらには世界遺産のある村としての誇りを次世代へ継承するための施策を展開していきます。

また、歴史的風土を次世代に引き継ぐ主体となる村民が安心して安全な生活ができるよう子育て、教育、福祉等の施策をさらに充実するとともに、良好な成果環境を実現するための地域コミュニティ等の整備を行います。

担当：総合政策課

連絡先：(Tel)0744-54-2001

(Mail) seisaku@tobutori-asuka.jp

上牧町



奈良盆地の北西部に位置する上牧町では、2015年に国史跡に指定された『史跡 上牧久渡古墳群』があり、その整備プロジェクトへの寄附を募集しています！

『史跡 上牧久渡古墳群』は、上牧町南側の丘陵上にある8基の古墳で構成されている古墳時代初頭から飛鳥時代にかけて築かれた古墳群です。最古の3号墳からは副葬品として、中国鏡と鉄製武器が出土するなど、この地域の有力王家にかかわる古墳と考えられています。

本プロジェクトでは、古墳群の史跡公園化を進めています。住宅街に残る史跡と自然を後世に伝えながら、地域の憩いの場としての活用を目指しています！

担当：企画財政課 総合企画係

連絡先：(Tel)0745-76-2502

(Mail)seisaku@town.kanmaki.lg.jp

王寺町



<王寺町産オリーブを活用した特産品の開発プロジェクトへの寄附を募集しています>

奈良県の北西部に位置する王寺町では、まちの魅力向上事業として新たな特産品の開発に取り組んでいます。

王寺町の年間降水量や風の強さ等の気候条件がオリーブで有名な小豆島に似ていることから栽培が始まり、現在約1,300本の植樹が進んでいます。

栽培や活用にあたっては産官学で連携し、オリーブオイルだけではなく、オリーブ茶や美容への活用など幅広い分野で王寺町の特産品として開発するプロジェクトです。ご賛同いただける企業様を募集しています。

担当：政策推進課 財政係

連絡先：(Tel)0745-73-2001

(Mail)seisaku-z@town.oji.nara.jp

広陵町



本町は、奈良県の北西部に位置し、働き世代が多く、都市近郊のためベッドタウンとなっています。その働き世代に健康への関心を高めてもらうために、スポーツを取り入れた健康増進事業を検討しており、今回「骨折ゼロ」を目指したプロジェクトを実施します。

(プロジェクト内容)

◎広陵元気塾【健康×スポーツ】

プロサッカーチーム「大分トリニータ」との協働事業

・脳トレの実施

・無関心層への働きかけ動画作成

プロスポーツとの協働事業を行うことで、健康無関心層が保健事業へ参加する新たなきっかけとなることを目指します。

担当：けんこう推進課 芝、松川、信田

連絡先：(Tel) 0745-55-6887

(Mail) hokencenter@town.nara-koryo.lg.jp

河合町



荒廃農地活用プロジェクトへの寄附を募集しています！

増加傾向の荒廃農地を農業委員会の皆さまが中心となって多世代が農業体験できる場、その名を“たんぼの楽耕”と称して利活用しています。

【ねらい】

- ・高齢者から子どもまで共同作業を通じ、多世代が交流しながら農業の楽しさを味わえる
- ・新規就農者の育成を図る
- ・町外からも受け入れ可能で町のプロモーション活動にも資する

担 当：政策調整課 永綱
連絡先：(Tel)0745-57-0200
(Mail)seisaku@town.kawai.nara.jp

吉野町



吉野町宮滝にある宮滝遺跡は、飛鳥～奈良時代にあった離宮・吉野宮とされています。吉野宮は、“壬申の乱”や『万葉集』などと縁が深く、多くの方が訪れる場所となっています。吉野町では宮滝遺跡の重要性を認識し、遺跡の情報把握などに努めてきました。その成果をふまえ、来訪者に遺跡・歴史・文化を感じて「こころのふるさと」と感じてもらえるよう、そして、遺跡を後世にのこすことができるよう、「(仮称)吉野宮滝万葉公園」整備に取り組んでいます。

担 当：政策戦略課公民連携室 浪花
連絡先：(Tel)0746-32-3081
(Mail)seisaku@town.yoshino.lg.jp

大淀町



子どもたちの生きる力を育み、輝かしい未来をともにつくるというスローガンで「おおよど子ども未来プロジェクト」を立ち上げました。持続可能な切れ目のない子育て支援を提供するため、子育て支援拠点施設「未来樹(みらいじゅ)」を開設予定です。

また、プロジェクトの一環として、メルカリを通して保育所の不用品等の販売を行うことでSDGsにも取り組んでいます。これは奈良県内の自治体としては初めての試みです。このプロジェクトをとおして、子育て支援の充実、SDGs目標の達成に積極的な取り組みを行うことで、子どもたちの輝かしい未来を共に創っていきます。

担 当：健康子ども課 福西
連絡先：(Tel) 0747-52-9403
(Mail) hoken-sen@town.oyodo.lg.jp

下市町



「下市町空き家バンク」をさらに充実させ、「空き家を提供したい」という方と「空き家を利用したい」という方のマッチングをさらに充実させるとともに、住宅の確保及び改修等に係る支援などを行います。

移住・定住の大きな要因の1つである住環境の充実を図り、下市町への移住・定住を促します。

担 当：財務監理課 森川
連絡先：(Tel) 0747-68-9062
(Mail) zaisei@town.shimoichi.lg.jp

黒滝村



【黒滝村の概要】

- ・人口：623名 ・総面積：47.7km² (内97%が林地)
- ・平均標高：455m

〈訪れたくなる村づくりプロジェクト〉

過疎化による人口減少など課題を解消するため、長期的な視点で官民連携により事業推進し、関係人口づくりや移住定住の促進の取り組みを通じて、将来に渡って活力のある地域づくりを目指します。

具体的には次の2事業を進めます。

- ① 森林資源の保全と担い手育成による地域振興
- ② 魅力ある観光施設の整備

担 当：企画政策課 上中

連絡先：(Tel) 0747-62-2031

(Mail) kuro_ks@vill.kurotaki.lg.jp

天川村



観光を中心とした産業活性化事業として、洞川地区の街並みづくりに取り組みます。洞川温泉センター及び駐車場を整備することで、歩いて楽しい、風情があり、交流と活気のある観光のむらづくりを目指します。

担 当：地域政策課 吉崎

連絡先：(Tel)0747-63-0321

(Mail) chiikiseisaku@vill.tenkawa.lg.jp

野迫川村



野迫川村への移住・定住促進プロジェクト

野迫川村への移住希望者や野迫川村に興味がある人を対象に、野迫川村移住定住体験ツアーを企画・実施します。移住者と地域住民が交流できる憩いの場を提供するとともに、交流イベントを企画・実施し、都市部住民と地域住民の交流を促進します。

担 当：総務課 宮村淳平

連絡先：(Tel)0747-37-2101

(Mail) soumuka@vill.nosegawa.nara.jp

十津川村



十津川村では、空き家等を活用し、現在受け入れ基盤のない中長期的な滞在拠点を整備したいと考えています。中長期的の滞在で日本一広い村を存分に堪能し、その暮らしぶりを実際に体験して頂くための拠点として、より多くの人を十津川村にお迎えすることを目指します。

プロジェクト内容

- ・立地条件の検討～物件の発掘
- ・整備方針の策定、運営方法の検討
- ・滞在拠点の整備
- ・村内の不動産の流通促進に関すること 等

平地が少ない村内だからこそ、より有効な活用ができるようお力添えを頂きたいです。

担 当：企画観光課 野依

連絡先：(Tel)0746-62-0004

(Mail)kankou@vill.totsukawa.lg.jp

下北山村



〈森と地域を守る人づくりプロジェクト〉

森林は木材生産だけでなく、下北山村を流れる綺麗で豊かな水を作り、土砂災害の予防機能などの効果も発揮してくれます。近年、木材価格の低下等により森を育て整備する人が減っています。これからも先人が残してくれた森林を守り次世代へ繋いでいくには、「森と地域を守り、森を育てる人づくり」が重要です。

下北山村ではプロジェクト実現のため3つの取組みを進めています。

- ①道をつくり森を育てます
- ②森を育てる人を支援します
- ③森林環境教育・啓発活動

担当：総務課 仲

連絡先：(Tel)07468-6-0001

(Mail)furusato@vill.shimokitayama.lg.jp

上北山村



道の駅及び周辺施設を川辺で家族連れが楽しめる観光拠点として整備、自転車競技「ヒルクライム大台ヶ原」、「大台ヶ原マラソン」等の交流イベントの継続開催、令和2年度開業の宿泊施設フォレストかみきたの補完施設として和佐又山にオートキャンプ場の開設を目指しています。皆様のお力添えをお願いします。

担当：総務課 吉住 琉雅

連絡先：(Tel) 07468-2-0001

(Mail) somu@vill.kamikitayama.lg.jp

川上村



村産木材で建てる

「川上村保育園並びに義務教育学校」施設整備プロジェクトへの寄附を募集しています！

川上村は、奈良県の南東部に位置し、面積の95%が山林で、吉野川(紀の川)の最源流にある自然豊かな村です。

先人たちの「教育」にかける思いを継承するため、『15の春は正夢に』をスローガンに、保育園と小中学校をひとつの敷地に集めた“保育園並びに義務教育学校施設整備事業”を進めています。川上産吉野材をふんだんに使用した木造3階建て校舎は、令和6年4月開校を目指しています。

担当：くらし定住課 筒井

連絡先：(Tel)0746-52-0111

(Mail)teijyu@vill.nara-kawakami.lg.jp

東吉野村



クリエイター等に移住を呼びかける「クリエイティブヴィレッジ構想」の推進、また、空き家バンクの設置や空き家改修費用の助成、ゲストハウスやサテライトオフィスの整備などにより、若い世代の移住が進み始めています。この移住の流れをさらに加速させるべく、人が集う村づくりに引き続き磨きをかけます。

担当：総務企画課 南 貴裕

連絡先：(Tel) 0746-42-0441

(Mail)soumukikaku@vill.higashiyoshino.lg.jp